

マッチコミッショナー	会場長	主審

公式記録

大会名	平成20年度高等学校サッカー関東大会埼玉県予選決勝			観衆	1650人	天候	晴	風	微風	
会場	浦和駒場スタジアム		ピッチ	芝	状態	良好	温度	20	湿度	49%
日時	平成20年4月27日(日)		13:00	キックオフ	試合時間	80分	延長	20分	PK方式	
主審	中村 太	副審	坂本 順一	副審	大井 僚介	第4審判	新井 直昭	記録	新井 正博	

チーム名 市立浦和 キックオフ	1	1	前半	0	2	チーム名 西武台
		0	後半	2		
			延長前半			
			延長後半			
			PK方式			

交代		シュート				得点	選手名				位置	選手名				得点	シュート				交代	
No	時間	延長	後半	前半	計		位置	番号	番号	位置		位置	番号	番号	位置		計	前半	後半	延長	時間	No
							町田 紘	GK	1	1	GK	山崎 悠平 (Cap)										
							神山 剛史	DF	3	3	DF	尾崎 賢作										
							福元 聡一郎	DF	14	5	DF	高良 諒		1		1						
	76						後藤 拓也	DF	15	16	DF	野口 優										
							相馬 貴彦	DF	21	19	DF	楠本 一彦										46
	54		1		1		森 謙太	MF	5	8	MF	田畑 彬		1	1							46
			1		2		徳島 翔 (Cap)	MF	6	10	MF	三浦 大輝		1	1							
							松橋 慶	MF	8	13	MF	高橋 翔		1	1		1					
	79			1	1		平塚 圭亮	FW	9	9	FW	佐瀬 達也		1	2		2					
			2		3		桑原 岳人	FW	10	11	FW	坂下 凜										53
	54			1	1	1	田島 大樹	FW	19	14	FW	内藤 大河		2		2						73

							大友 晃平	DF	2	2	DF	新井 翔平										
	15						武井 一真	DF	4	4	DF	猪瀬 陵										19
	19						森 寛彰	FW	11	6	MF	与那覇 裕人		2		2						8
							今野 宏樹	FW	12	7	MF	立原 直人										14
	9		1		1		川野 拓紀	FW	13	12	GK	公平 和成										
							長谷川 新	MF	16	15	DF	塩野 大樹										
							島崎 優希	GK	17	17	MF	中村 龍太郎										11
							酒井 翼	FW	18	18	MF	西岡 夕介										
							山辺 雅人	DF	20	20	DF	谷森 翔										
							長谷川 一茂	MF	23	21	MF	岩戸 喜成										
	5						小椋 光平	DF	24	25	DF	向山 大樹										

	0	0	5	4	9	1	池田 一義	監督	監督	守屋 保	2	10	2	8	0	0									
警告・退場		延長				後半				前半				計		計		前半		後半		延長		警告・退場	

懲戒時間番号	選手名	理由	3	3	6	ゴールキック	8	3	5	懲戒時間番号	選手名	理由	
										警告 20	3	尾崎 賢作	ラフ
			2	1	3	コーナーキック	3	1	2				
			1	9	10	直接フリーキック	4	3	1				
			2	0	2	間接フリーキック	1	1	0				
			0	0	0	ペナルティキック	0	0	0				

得点経過 (凡例: ~ドリブル、ゴロのパス、浮球のパス、×混戦、Sシュート、Hヘディング)

時間	得点者	アシスト	得点経過	時間	得点者	アシスト	得点経過
38	19 田島	6 徳島	HS	41	9 佐瀬	10 三浦	~S
				74	13 高橋	10 三浦	S

戦評 記入者: 福田 直史 所属: 栗橋高校

穏やかな天候の中、プリンスリーグ出場の武南・浦和東・正智深谷を除く中での西武台と浦和市立の決勝戦の戦いは、お互いに4-3-3のシステムで攻撃的にゲームを展開し、始めから各ポジションでのバトルが繰り広げられる。西武台は三浦が中盤の基点となり浦和市立最終ラインの裏へスルーパスを狙い、佐瀬・内藤を走らせる展開。浦和市立は桑原をターゲットにして中盤の早いサポートから両サイドへ展開し平塚・田島がドリブル突破する展開。前半スタートは西武台が押し込んだが、前半20分過ぎからは浦和市立が攻め込むことが多くなり、前半終了間際に一瞬の隙をつき、裏に送ったボールを田島がよく反応してシュートを決め、浦和市立がリードして前半を終了する。後半開始1分に西武台佐瀬が浦和市立最終ラインの裏に飛び出し独走からルーブシュートを決め同点にすると後半も互角の戦いとなり一進一退の攻防が続く。西武台は後半残り5分にコーナーキックの連続からゴール前に残っていた高橋がクロスをあわせて勝ち越し、逆転で勝利した。お互いに狙いを持った攻撃はできていたが、パスの精度が低く、相手に渡してしまうケースが多く攻撃の連続性ができなかったため、関東大会までに修正をしてさらにレベルアップを目指して欲しい。